様式第3号

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 チェック項目 ·社会 具体的な取組 ゴリ 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】 レベル 経済 の種別 ・国連の「国際人権章典」や国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則および 権利に関する宣言」といった国際行動規範、その他グローバルなガイドラインに則っ 差別的な扱いを受けた場合は相談窓口(ホットライン)に相談することをアナウンス 【差別の禁止】 0 0 0 基本 社会 0 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している - 人権力町の制定 - 定期的な社員研修 - サプライチェーンにおける人権尊重に関するガイドラインの制定と 健全な調達活動の実施 ・国連の「国際人権章典」や国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則および 権利に関する宣言」といった国際行動規範、その他グローバルなガイドラインに則っ 差別的な扱いを受けた場合は相談窓口(ホットライン)に相談することをアナウンス 【ハラスメント禁止】 基本 社会 0 0 0 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている 一人権方針の制定 - 定期的な社員研修 - サブライチェーンにおける人権尊重に関するガイドラインの制定と健全な調達 活動の実施 公益通報者保護法に則った運営 ・柔軟な働き方の実践と過重労働の防止および休暇取得促進について、各国の関連 【労働時間】 法制度を遵守し、労使で協力して取り組みを進めている 基本 社会 0 過度な長時間労働が行われていない 労働安全衛生委員会や経営層会議での長時間労働状況の共有や是正対策 ・国連の「国際人権章典」や国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則および 権利に関する宣言」といった国際行動規範、その他グローバルなガイドライン則っ 差別的な扱いを受けた場合は相談窓口(ホットライン)に相談することをアナウンス 【外国人労働者】 基本 社会 0 Ω Ω ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している - 人権方針の制定 - 定期的な社員研修の実施 サプライチェーンにおける人権尊重に関するガイドラインの制定と健全な調達 ・安全衛生基本計画に則り、従事する者に安全で健康かつ快適な環境を提供してい 【労働安全衛生】 - 定期的な社員研修の実施 0 0 基本 社会 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている - 作業現場におけるTBM-KYの実施 安全管理・事故分析・プロジェクト品質管理・災害対応を行うSQCC(Safety Quality Control Center)を2025年1月に開所し、安全品質の維持向上を図って 柔軟な働き方の実践と過重労働の防止および休暇取得促進について、各国の関 連法制度を遵守し、労使で協力して取り組みを進めている - 労働安全衛生委員会や経営層会議での長時間労働状況の共有や是正対策 6 労働 【メンタルヘルス】 - メンタルヘルス予防対策の実施及び罹患者への復帰・復帰後のサポート - 健康診断、がん検診の促進、費用補助 - 全社員を対象としたAppleWatchの配布およびそれによる健康経営の促進 0 基本 社会 労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している - 管理職以上の「健康検定」の受験促進 ·インクルージョン・ダイバーシティ(I&D)推進委員会を中心とした施策の展開 - 表層(性別・年齢等)に加え、深層(価値観・個性・考え方等)のダイバーシティ を意識した取り組みを推進 · 計員の啓発活動 女性社員のキャリアアップ支援のためのメンター制度の導入─ I&D対話イベント(社外取締役と社員の対話や社外有識者を招いてのセミナー 【ダイバーシティ経営の促准】 基本 社会 0 0 0 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている - I&Dに特化したポータルサイトを活用した啓発活動 役員に占める女性比率:2030年までに30% - キャリア採用比率: 2030年までに50%

				•環境		1 2	3	1	5	6 7	Ω	0 1	0 1	1 12	13 1	14 15	16 1	7
	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1 DA 2 DE S	1 1173 -W	455***		₹		10 ca			13::::: (A)		**************************************	
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・柔軟な働き方の実践と過重労働の防止および休暇取得促進について、各国の関連法制度を遵守し、労使で協力して取り組みを進めている。 労働安全衛生委員会や経営層会議での長時間労働状況の共有や是正対策 - メンタルヘルス予防対策の実施及び罹患者への復帰・復帰後のサポート - 健康診断・が人検診の促進、費用補助 - 全社員を対象としたAppleWatchの配布およびそれによる健康経営の促進 - 「脱たばこ」を目指した「卒煙プログラム」の実施、禁煙本の無償配付 2007年より働き方改革に取り組んでおり、テレワークも2008年より導入。 インに、非な自社実践を通じて蓄積してきたグロッとデジタル技術を活用し、イバベーション強化に繋がる共和環境で、業務ブロセスの実現など、働き方改革に関するソリューションを長年提供している。ニューマーマル時代となった現在では、リアルとバーチャルを融合したハイブリッドワークの実証を開始している。 フーシックスタイム制はコアタイムを排除した制度、休暇についても、時間単位での休暇取得が可能となっており、ライフスタイルにあった働き方を推奨している		C)			0							
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	 人材開発基本方針に基づき、社員―人ひとりの資質と能力を最大限に活かし、人材育成を組織的かつ効果的に推進している。 キャリアップ支援、人材公募による新たな業務へのチャレンジ制度等 社外教育受講や資格取得への支援 個人の能力開発のボイントを可視化して、それぞれの能力に応じてリスキリングが行える「キャリアアセスシト」を全従業員に実施 インターンシップの受入(障がい者含む) 			0			0	0						
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済							0	()					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	 環境方針のもと、事業活動全般で環境負荷低減に努めている 環境マネジメントンステム(ISO14001)を取得し、廃棄物、有害化学物質についても法令の確認および適切な管理を実施するとともに、定期的な監査も実施ー情報過店機器の回収・リサイクルの実施 梱包材の削減、リユース 								C	0		0		
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・全社のエネルギー使用量を把握し、見える化を行っている					0					0			
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・TCFDへの賛同を表明するとともに、提言に基づく開示も行っている - 自社排出の温室効果ガスの把握(Scope 12.3)と削減活動の実施 - 自社排出とけてなく、ICT技術により、社会全体の温室効果ガス排出削減 への貢献を実施している(様々な産業でのプロセス効率化、街づくり等) ・KPIとして、2030年までに2020年度比・自社排出量のScope 12、実質では、Scope 3 50%削減、NECグループとしてSBTi認定を取得し、2040年ゼロエミッションを目指している					0				0	0			
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	 環境方針のもと、事業活動全般で環境負荷低減や気候変動による影響低減に 努めている 環境マネジメントシステム(ISO14001)を取得し、廃棄物、有害化学物質に ついても法令の確認および適切な管理を実施するとともに、定期的な監査も 実施している 事業場内における化学物質の使用については、使用量のIN-OUT管理を行い 適切な適用を行っている 		c)		0			C	0				
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・自社の活動が生物多様性に及ぼす影響は少ないと認識しているが、生物多様性行動指針を掲げ、自発的な活動を展開している ・ 体耕田を再生した田仏氏作りプロジェクト(茨城県石岡市東田中の田んぼで、地元の有識者にご指導いただきながら、社員が田植えから酒造りまで年間を通した活動を展開、昔ながらの有機農業による環境保全はもとより、休耕田の再生で田んぼの生態系サービス機能を復元して、田んぼを含む周辺の生態系保全に取り組んでいる					0						0		
16	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	 環境関連法規制を遵守し、水利用量の削減や環境負荷の低減に取り組んでいる 芝浦本社では、水資源を有効利用するために、雨水や再生水をトイレの洗浄用水などの雑用水として利用し、水資源の節約と効率的な利用に努めている グループ会社のNESIO陸上養殖株式会社においては、ICT/デジタル技術を駆使し水資源の管理・効率的な利用に努めている 					0								
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・環境マネジメントシステム「ISO14001」を1999年12月に認証取得している 更新審査および拡大審査を受審し、2014年12月には当社グループとして認証を取得し、グループ全体で環境活動の取り組みを強化している		C)		0 0				0	0	0 0		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	- 自社の社外WEBおよびNECネッツエスアイレポートにおいて、環境全般の取り組み に関する情報開示を行っている ・気候変動が野においては、TOFDへの賛同を表明するとともに、提言に基づく開示 を行っている。CDP2024回答においては、気候変動分野で「A」リストに選定									0				
19		【再生可能エネルギーの利用】 - 再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	- 当社がテナントとして入居している全てのビルを対象に、電力会社から提供される 電力を再生可能エネルギーにて発電された再エネブランへの切替を進めている - 2021年度は2機点、2022年度はデータセンター、2023年度は移転後の現在の本社 ビルおよびMSCセンタービル、2024年度は日本橋インペーションセンターの切替を 実施 今後は、NECと連携を図り、全国の拠点における再生可能エネルギーの導入を推 進					0					0			

			環境		1	2	3 4	5	6	7	8	9	10	11	12 1	3 1	14 1	5 16	17
カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1 000. \$1494\$	<u>""</u>	₩	S decired	<u>Å</u>	7 that States 1 thrysmall	*****	9 11111111	10 (15517** 	alda) HI		18 ::::::	17 sensor
20	【天然資源の持続的利用】 - 天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・製品のライフサイクル全体における環境負荷低減を目指し、取引先と一体となった グリーン調達を推進している ・プラスチックの資源循環を一層促進する重要性が高まっていることから、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出抑制や再資源化促進を目指し、梱包材の再利用や什器のリュース等の取り組みを進めている											0	0	0 0)	
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・環境方針のもと、事業活動全般で環境負荷低減や気候変動による影響低減に努めている 一環境マネジメントシステム(ISO14001)を取得し、廃棄物、有害化学物質についても法令の確認および適切な管理を実施するとともに、定期的な監査も実施 使用済みとなった情報処理機器および通信機器(NEC製のコンピュータ、通信機器など)の回収・リサイクルを行っている					0					0	0	0	0 0)	
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・法務コンプライアンス部が主管部門となって、贈収賄防止基本規程に則った活動を展開 - 社内関係部門や国内関係会社に対する贈収賄防止基本規程に関する指導、支援。指示 - 定期的な社員研修の実施 - 費用の支出の適正確保においては、総務部(接待・贈答、寄付関係等)、営業統括本部(営業経費関係)、調達本部(資材費関係)が必要なガイドラインを制定するとともに、各部門から申請のあった支出の適法性や妥当性についてチェックを行っている														0	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・国内外の競争法を遵守するための基本的な留意事項を定めた「独占禁止法遵守マニュアル」に則った活動を展開 - 官公庁等のお客様との取引における競争業者との関係や、販売店・リース会 社、調達水などとの垂直関係における競争法上の禁止行為をより明確に定 め、カルテル・入札談合などの競争法違反行為を疑われたり、これらに巻き込 まれたりすることのないよう、事例の展開や定期的な社員研修を実施														0	
公正 な事 業慣 行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・法務コンプライアンス部が主管となって、研究開発などの知的活動の成果を知的財産権(特許権・著作権、商標権など)によって保護、維持し、かつ積極的に活用するよう努めるとともに、第三者の正当な知的財産権を尊重し、故意に侵害または不正使用を行わないよう、定期的な社員向け研修を実施							0	0							
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・ブライパシーマークを取得するとともに、要求事項に則ったマネジメントシステムの 構築、運用をしている														0	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	 「サプライチェーンにおける責任ある企業行動ガイドライン」内で、「NEC グループの 責任ある鉱物調達対応方針」を定め、調達する鉱物資源が紛争や人権侵害等を 助長していないことへの誓約書を取引先より得ている 														0	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	「NECグルーブ調達基本方針」や「サプライチェーンにおける責任ある企業行動ガイドライン」に刺った調達活動を展開し、取引先と共にサステナビリティを意識した活動を展開している 一人権、労働・安全衛生、環境、公正取引、情報セキュリテイ分野で、要求事項に対する調達取引先の遵守状況や取り組み状況を確認するための書類点検を実施している				0			0		0		0	0 (0 0	0	0
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・品質マネジメントシステム(ISO9001)を取得し、要求事項に則ったマネジメントシステムの構築、運用を行っている・プロシェクトの各工程で品質基準、管理基準、規格要求事項を明確化して、各プロセス間に確認ポイントを設け確認する「プロセス移行制定」の導入・法律や社内ルールに則っているかを社内第三者が確認する「プロジェクト審査」の実施・経営幹部・事業部門トップによる現場安全が「ハールの実施・安全品質に関する全社イベントの開催(全社安全大会)・意識啓発活動の実施(優秀作業者の表彰等)			0								0				
29 製品・ サー ビス	【品質保証】 - 顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・品質マネジメントシステム(ISO9001)を取得し、要求事項に則ったマネジメントシステムの構築、運用を行っている ・プロジェクトの各工程で品質基準、管理基準、規格要求事項を明確化して、各プロセス間に確認ポイントを設け確認する「プロセス移行判定」の導入 ・法律や社内ルールに則っているかを社内第三者が確認する「プロジェクト審査」の 実施 ・経営幹部、事業部門トップによる現場安全パトロールの実施 ・CSアンケートを定期的に実施し、お客様とのコミュニケーション、改善活動を実施 ・CSに関する有識者を招いてのセミナーの開催								0							
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・製造メーカーではないが、グリーンスチール(東京製罐製「ほぼゼロ」)を使用した架合の制作・自社利用や外郭団体での活用促進を行っている					0						0	0	0 0)	
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・「コミュニケーションで創る持続可能で包括的な社会」を目指し、企業活動の全てで 気候変動や社会課題解決に向けた取り組みを進めている。 マテリアリティでは重点的な社会価値テーマとして以下を掲げている (統合報告書にて目標も開示) - 誰もがより活き活きと動ける環境の創造 - 先進テクノロジーを活かした楽しく豊かな生活 - 発展する社会の安全安心を支える万全なサービスの提供	0	0	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0	0 0	0	0

カテ	チェック項目	期待	·環境 ·社会		1	2	3	4	5 6 7	8	9	10	11	12	13 14	4 15 1	6 17
ゴリ	【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	レベル	・経済の種別	具体的な取組	1 00. 84448	2 === 	1 12722 -W-	4 tithern	S part 1991	8 =====	*****	10 cctor* 4⊕ ►	Alde C	∞ ∞	6	15 tit*** 18 ::	2
32	【地域への影響への配慮】・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・上記マテリアリティはメガトレンドからリスク・機会を分析した結果特定したものであ り、そのプロセスにおいて地域も含めた社会全体を踏まえて分析を行っている				0			0		0	0	C	0	0
社会 貢献· 33 地 貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ポランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・社員一人ひとりが社会や個々のコミュニティのさまざまな課題に目を向け自発的な活動を行えるよう、会社で様々な機会を設けるとともに、社外のさまざまな団体・組織等と連携した活動を展開している - 次世代育成のための出前授業 - 学生の会社見学受入 - 被災地復興支援 - 本社地域の学校との連携 (音大と連携したコンサート、地域盲学校生徒のインターン受入)				0					0		C	0 0	0
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済							0	0		0	0	0		
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・法務コンプライアンス部が主管となって、行動規範のもと、様々な活動を展開 - 法令連守のさらに更に先の「インテグリティ」の意識について、経営トップ自らが 様々な機会で発信を行っている - 社員一人ひとりがコンプライアンスと向き合うコンプライアンスの日(毎年11月 18日)を設定 - 職場懇談会やWeb教育当、社員への啓発活動も積極的に実施 - ホットライン窓口の設定													0
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社 会、経済	・NECネッツエスアイグループ宣言やマテリアリティを設定し、経営者自らが 様々な機会でこの重要性を発信している ・迅速な意思決定を行うことができる経営体制、内部統制体制をとるとともに、 迅速かつ適切な開示を行うことで経営の透明性および健全性の確保に努めて いる						0	0						0
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・法務コンプライアンス部が主管となって、行動規範のもと、様々な活動を展開 - 法令連守のさらに更に先の「インテグリティ」の意識について、経営トップ自らが 様々な機会で発信を行っている - 社員一人ひとりがコンプライアンスと向き合うコンプライアンスの日(毎年11月 18日)を設定 - 職場器談会やWeb教育当、社員への啓発活動も積極的に実施 - ホットライン窓口の設定													0
38 組織	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・経営企画部内にサステナビリティ推進チームを設置し、事業活動が社会・環境に及 ぼす影響についてリスクと機会の両面から活動を展開している ・全社委員会としてサステナビリティ推進委員会、中央環境管理委員会を設置し関係 する議題について、経営層で議論を行っている													0
体制 39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・「リスク・コンプライアンス委員会」を中心としたリスク管理体制を構築し、PDCAサイクルによる効果的かつ総合的なリスク管理を実施 同委員会を3カ月に1回開催し、重点対策リスクの進捗管理を行い、改善が必要と 認めた部門に対して改善策の策定を指示している ・社内各部門、当社グループ各社においてもそれぞれの経営品質向上活動を組織 化し、全社の方針、施策の水平展開を図るとともに、各組織の事業特性に応じた リスク管理を実施													0
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility) の取組を進めている	応用	環境、社会	・「サステナビリティ」の概念の中でCSR活動を展開 ISO26000ほか、グローバルのガイドラインGRI等、幅広く社会の動きを把握しながら 取り組みを進めている													0
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・自社のサステナビリティの取り組みが独りよがりにならないよう、外部有識者等を交えた討議を行い、経営にフィードバックし改善を行っている													0 0
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	事業継続マネジメント方針のもと、事業継続計画を立案している・ ・危機対応対策本部の設定、災害発生時行動フロー、エスカレーションルールの策定を行っている・ ・大規模災害訓練の実施や、定期的な社員への研修を実施							0		0		0		0

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	1 MM	2	3 1 1177111 -W/+	4	5 6 ••••••••••••••••••••••••••••••••••••	7	8 9	10	11	12	13	14 1	15 16	17
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	・事業継続マネジメント方針のもと、事業継続計画を立案している ・危機対応対策本部の設定、災害発生時行動フロー、エスカレーションルールの策定 を行っている ・大規模災害訓練の実施や、低規程な社員への研修を実施							0)						0

【記載留意事項】

- ルフェアなど)を活用している場合も併せて記載してください。(次項の【その他独自に行っている取組】も同様。)

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4 5	6	7	8	9	10	11	12	13 14	15	16 17
独日に改定したSDUSに貝 9 る収粒	共神町/よ 拟融	1 00. 84444	2 ===	3 100000 -W/	(m)	<u> </u>	7 :::::::::::::::::::::::::::::::::::::	8 ==== an	***	0 adam (\$)	Alda (× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×	W	15 titen <u>\$^</u>	****